

# 民主

PRESS MINSHU

2008年6月(1)

号外

定価200円(消費税込み)  
年間購読料3000円(送料含む)

民主党プレス民主編集部  
東京都千代田区永田町1-11-1  
電話 03-3595-9988(代表)  
press@dpj.or.jp  
http://www.dpj.or.jp

神奈川県  
第5区総支部版  
総支部代表 田中慶秋



お年寄りをいじめめるな!

後期高齢者医療制度、天引き、年齢差別は許せない

## 納得いかない医療制度は廃止せよ

ハッキリした根拠も示さない中、「6、7割の人は負担減になる。おじいちゃん、おばあちゃんには絶対に迷惑をかけない」と言ってきた政府・自民党の後期高齢者医療制度。弱者に優しいはずの今回の医療制度は、私たちが心配した通り、所得の低い人ほど負担増になることが政府自らの実態調査で明らかになりました。これだけでも弱者いじめがハッキリ示されたわけです。

「百年安心の年金制度」も都合の悪いデータをひた隠しにしてきたことを考えると、政府の発表はどこまで信用できるかわかりません。国民が望まない法案は廃止しなければなりません。



横浜で演説する鳩山幹事長。  
戸塚、瀬谷、泉区をまわった。



## 国民無視の医療制度に怒り!

鳩山由紀夫幹事長は5月31日午後、神奈川県横浜市を訪れ、街頭演説会を行いました。国民を無視した後期高齢者医療制度について「お年寄りの方が増えれば医療費がかさみ、そのため2200億円の予算を削減しなければならない、そういう財政再建主義の観点だけで、政府は75歳を境に医療制度を変えた。今までの保険制度で一番保険料を払ってこられた方が、突然別の保険制度に入れさせられる。敗戦から復興まで導いてこられた立役者に負担を強いる、このやり方はお年寄りの尊厳を大変傷つけている」と怒りをあらわにしました。

鳩山幹事長は「このような制度はまず廃止すべき」と野党4党で同制度の廃止法案を提出したことを訴え、同制度を廃止することを強く求めるとともに、財源を含めた今後の老人医療制度のあり方を国民の皆さんと一緒に議論していく姿勢をアピールしました。

# 小泉政権下で決した弱者切捨て!

CHALLENGE  
AND  
CHANGE

改革へ  
チャレンジ

前衆議院議員  
田中けんじろう



政府、自民党は後期高齢者医療制度で「7割の人の負担が減る」と言っています。それなのに、軽減措置を打ち出したのです。基礎年金しかない低所得のお年寄りの保険料を9割軽減する、天引きの代わりに息子たちからの肩代わり徴収、終末期相談支援料の廃止、扶養家族だったお年寄りの負担軽減措置延長などです。負担が減るなら、さらなる軽減措置は必要ないはず。それなのに負担軽減案を示したのは、国民の怒りと私たち民主党の反対で制度そのものに確信が持てなくなってきているからなのです。それでも制度の骨格は変えようとしません。これが間違いを認め改めようとしぬ官僚政治の悪いところです。それに支配されているのが自民党なのです。

この制度の問題点は、弱者切捨ての非情さにあります。高齢者の尊厳、生活と健康を守るという観点に欠けているのです。安心の医療制度ではなく、医療費を如何に安く抑えるかだけを考えた、血も涙もない制度なのです。

この医療制度は市場原理主義をかけた、弱者切捨ての政策を執り続けた小泉政権下で成立したもの。血の通わぬ財政中心主義だけでは、国民の理解は到底得られるものではありません。

## 地域を変え日本を変える原動力

【戸塚】



戸塚区議会議員  
そがべく美子



戸塚区議会議員  
北井宏昭

【泉】



泉区議会議員  
松本 清



泉区議会議員  
松本さとし

【瀬谷】



瀬谷区議会議員  
平本さとし



参議院議員  
牧山ひろえ



戸塚区議会議員  
内田しげお



戸塚区議会議員  
星野くにかず



戸塚区議会議員  
川辺よし男



泉区議会議員  
中島けんご



瀬谷区議会議員  
花上きよし



参議院議員  
水戸まさし

あなたの町の国会、県会、市会議員です。